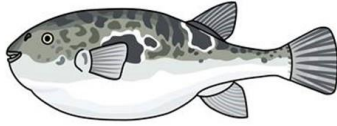


千葉県 沿岸重要水産資源 令和 7 年度資源評価

トラフグ



- ・ はえ縄，定置網，小型機船底びき網，まき網などで漁獲される。
- ・ 1 歳で全長 26cm (0.4kg)，2 歳で 40cm (1.4kg)，3 歳で 48cm (2.9kg) に成長し，寿命は 10 年程度と考えられている。
- ・ 産卵期は 4～5 月で，成熟年齢は雄で 2 歳，雌で 3 歳。

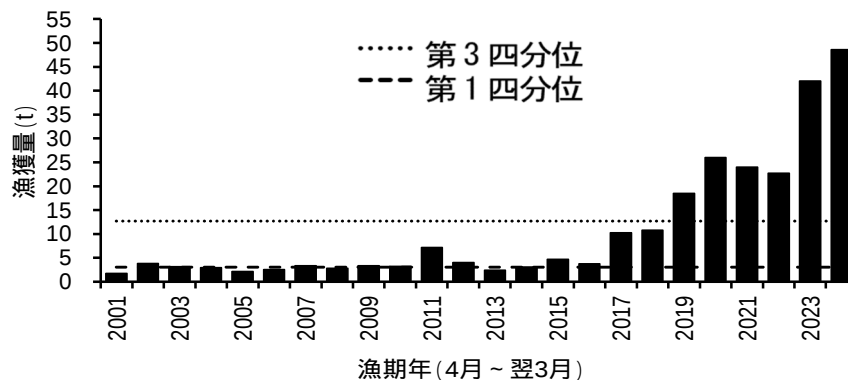
資源評価

水準：高位	動向：増加

注) 資源水準は、原則過去 20 年以上の評価指標値（漁獲量）から四分位数により評価した。
資源動向は、最近 5 年間の評価指標の近似式から年間 5% 以上の増減の有無により判断した。

資源評価の指標値

- ・ 資源水準及び動向は，漁獲量の推移から判断した。
- ・ 2024 年の資源水準は高位。最近 5 年間の資源動向は増加傾向となった。



県内主要漁協における漁獲量の経年変化
(千葉県調べ：トラフグ銘柄を有する主要 12 漁協)

漁獲量

- ・ 県内主要漁協におけるトラフグ漁獲量は 2001～2016 年漁期は約 2～7 t で推移していたが、2017 年漁期に 10.2 t に急増し、その後も増加傾向を示し、2024 年漁期は 48.6 t であった。

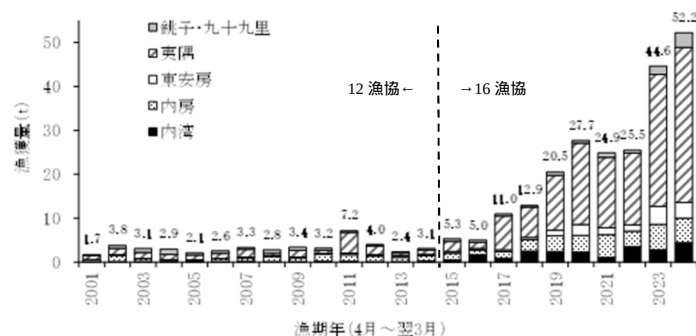
資源管理の取組

- ・ はえ縄では操業期間の制限など漁業者による自主的な資源管理が行われている。
- ・ 県では，放流種苗の移動・分散及び放流効果を把握するため，2015～2019，2022，2024 年に東京湾において，2020，2021，2023 年に外房において標識放流試験を行っている。

備考

- ・ 現在，国は日本海・東シナ海・瀬戸内海系群（21 府県），伊勢・三河湾系群（三重～静岡）の資源評価を行っている。この 2 系群と千葉県沿岸域に分布するトラフグとの関連を明らかにするため，水研機構と連携して調査を進めている。

(参考) 地域別漁獲量の経年変化
(千葉県調べ)



東京湾におけるトラフグ遊漁の自主規制について

【遊漁船業者のホームページの一例】

近年、東京湾ではトラフグを対象とした遊漁が活発となり、ますますの賑わいを見せております。一方で、今後もトラフグ資源を持続的に利用していくためには、獲り過ぎなどを防ぐ「資源管理」に取り組む必要があります。

このたび、行政にも相談の上、内房（富津～館山）の遊漁船業者で協議を行い、資源管理のため、今シーズンから持ち帰ることができる尾数を利用客1人につき1日5尾までとする自主ルールを制定しましたので、お知らせします。

今後もトラフグ資源を持続的に利用していくため、東京湾を漁場とする皆様や千葉県水産部局と連携して資源管理に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。